

子どもの体験支援事業業務委託プロポーザル方式採点審査項目

審査項目		審査基準
①学習支援に関する項目	1 AI時代のIT関連スキルの習得の機能性	各項目について、以下の基準をもとに総合的に審査する。 ・AI時代に即したIT関連スキルの習得ができるカリキュラムであるか。 ・生成AIを活用するにあたり重要な倫理観やITリテラシーについて学ぶ機会があるか。 ・業務の目的・コンセプトを理解した企画案であるか。 ・実現性、具体性があり、仕様書の内容を満たしているか。 ・業務執行体制が整えられているか。 ・達成手段は妥当か。(業務全体のスケジュールは妥当か) ・業務の発展性を見据えているか。
	2 倫理性を踏まえたICT社会への参加力の育成	
	3 学習環境の整備	
	4 心理的安全性の確保	
	5 アフターケア・継続性機能	
②学校、家庭生活その他悩みに対する相談対応業務に関する項目	1 的確性	・業務の目的・コンセプトを理解した企画案であるか。 ・実現性、具体性があり、仕様書の内容を満たしているか。
	2 実現性	業務執行体制が整えられているか。 達成手段は妥当か。(業務全体のスケジュールは妥当か)
	3 特徴性	事業者の特徴があるか。
③評価業務に関する項目	1 的確性	・課題を的確にとらえ分析できるか。 ・実現性、具体性があり、仕様書の内容を満たしているか。
	2 実現性	達成手段は妥当か。
④費用効果に関する項目	1 経済性	・見積費用と提案内容に整合性はあるか。 ・見積金額が明確であるか。
⑤事業者に関する項目	1 類似業務の実績	業務経験が豊富で専門知識や技術力があると判断できるか。
	2 コンプライアンス	・守秘義務について十分な理解をもち個人情報保護に具体的な方策を明示しているか。 ・「子ども性暴力防止法」への対応・方針は明確であるか。
	3 プレゼンテーション	・説明の説得力、質問に対する応答が迅速かつ明確であるか。 ・委託者の要請に機動的に対応し、計画に反映できるか。